



2024年11月8日

各 位

会社名 S G ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松本 秀一  
(コード番号: 9143 東証プライム)  
問合せ先 取締役 経営企画担当 川中子 勝浩  
(TEL 075-693-8850)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向や株式会社C&Fロジホールディングス（以下、C&F社）の連結子会社化による業績影響等を踏まえ、2024年4月30日に公表いたしました2025年3月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 2025年3月期連結業績予想数値の修正

##### (1) 修正の内容

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,380,000	96,000	97,000	64,500	103.12
今回修正予想(B)	1,470,000	90,000	91,000	60,000	95.93
増減額(B-A)	90,000	△6,000	△6,000	△4,500	
増減率(%)	6.5	△6.3	△6.2	△7.0	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	1,316,940	89,204	90,850	58,279	92.98

##### (2) 修正の理由

当中間期（2024年4月1日～2024年9月30日）におけるデリバリー事業の業績が想定を下回ったこと、ロジスティクス事業及び不動産事業の業績が想定を上回ったこと等を踏まえて、当中間期の実績を反映するとともに、第3四半期以降の見直しを変更いたしました。

デリバリー事業について、当中間期において、平均単価は2024年4月からの届出運賃の改定や、取引ごとの適正運賃收受の取組みにより想定通り進捗しました。一方で、消費者マインドの改善には足踏みが見られ、宅配便の需要は全体的な回復には至っておらず、競争環境の激化も見られることから、取

扱個数は想定より減少しました。こうした事業環境等を踏まえ、第3四半期以降についても当中間期と同様のトレンドが継続すると見通し、通期の取扱個数を13.6億個から13.2億個に引き下げ、下方修正いたしました。

ロジスティクス事業について、当中間期では地政学リスク等の高まりを背景に、フォワーディング事業を営むエクスポランカ社における海上・航空運賃が上昇しました。海上・航空貨物の取扱量は、上記地政学リスクの影響や新規顧客の獲得等により好調に推移しました。こうした実績を反映するとともに、足元の動向を踏まえ、第3四半期以降の海上・航空運賃及び、航空貨物の取扱量を上方修正いたしました。

不動産事業については、第2四半期の不動産売却による収益を実績に織り込み、上方修正いたしました。また、その他の事業については、BPO案件の減少の他、大型トラック等の新車販売が減少したことを受け、実績及び第3四半期以降の見通しを下方修正いたしました。

新たに連結子会社となったC&F社（ロジスティクス事業）については、2024年9月30日をみなし取得日とし、2024年10月1日から2025年3月31日までの期間の業績見通しを含めております。これにより、営業収益は増加する見込みですが、損益面ではC&F社の営業利益が加算される一方で、のれん償却費等が発生することを勘案し、大きな影響は見込んでおりません。なお、のれん償却額はC&F社の株式取得に際し発生したのれんの金額において、当中間期末時点で取得原価の配分が完了していないため、暫定的に計上しているのれんの金額をもとに算定しております。

以上を踏まえ、通期の営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の予想を修正いたしました。

※ 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績はこれらの数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上